

年間第 21 主日 マタイ 16：13～20

パウロは「生きているのは、もはや私ではありません。キリストが私の内に生きておられるのです。」(ガラテヤ 2：20) と自分の信仰を高らかに宣言しています。ペトロはもっと人間的です。

1 つ目のペトロの特徴は素直なことです。「沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をなささい」とイエス様に言われた時は、「素人のあなたに漁の何がわかる」と内心反発します。でも網を下ろしたら豊漁でした。その時「主よ、私は罪深いのです。私から離れて下さい」とペトロはイエス様の偉大さと自分の無力さや罪深さを感じました。素直に感動して頭を下げるのがペトロの良い所です。ペトロは、イエス様の大事な場面にいつも同席しています。そして、堂々と期待される答えを言います。「あなたはメシア、生ける神の子です」(マタイ 16：16) 弟子の模範のつもりです。

けれども、暗雲が立ち込めます。受難予告でイエス様のことが分からなくなります。イエス様のことがわからなくなるのがペトロの 2 つ目の特徴です。「人の子は多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちから排斥されて殺され、三日目に復活することになっている。」(ルカ 9:21-27) ペトロはイエス様を脇へお連れして、いさめ始めます。すると「サタン、引き下がれ。あなたは神のことを思わず、人間のことを思っている」(マルコ 8：31-33) と言われてしまいます。ペトロに試練が襲います。「どうしてこんなことを言われるのか？ 弟子の代表としてイエス様のためを思って言ったのに」 イエス様について行きたいけどわからなくなります。

3 つ目の特徴は調子づいて聞き逃すことです。「たとえ、みんながつまずいても、わたしはつまずきません。・・・たとえ一緒に死ななければならなくなっても、あなたのことを知らないなどと決して申しません」(マルコ 14：29-31) と勇ましいことを言います。けれども、ペトロはイエス様の大切な言葉を聞き逃していました。「シモン、シモン、サタンはあなた方を、小麦のようにふるいにかけることを神に願って聞き入れられた。しかし、わたしはあなたのために、信仰がなくなるないように祈った。だから立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。」(ルカ 22：31-32) このイエス様の大切な言葉をよく聞いていませんでした。

ペトロの 4 つ目の特徴は、痛悔して泣くことです。イエス様が捕まり、動転したペトロは逃げ出します。ペトロは、「言っておくが、あなたは今日、鶏が鳴くまでに、3 度わたしを知らないと言うだろう。」(ルカ 22：34)の主の言葉を思い出し、外に出て激しく泣きます。(ルカ 22：61-62)

ペトロはイエス様を救うつもりでしたが、実際は、イエス様がペトロを救います。ペトロは、自分こそがイエス様にゆるしていただいた者だったと痛切に感じます。みじめになって、ゆるされて痛悔の涙をします。それが本当のリーダーになるために必要でした。ペトロは自分の苦い体験を経て、兄弟を力づける者、本物の弟子になります。

「私はあなたに天の国も鍵を授ける。」 この言葉はイエス様の口からではなく、ペトロの名誉回復のために福音記者が加えたとも言われています。ペトロは、自分はパウロほど立派じゃない、と感じていたでしょう。そこが逆にペトロに親近感を覚える理由かもしれません。わたしたちも、ペ

トロのように紆余曲折がありながらも、イエス様についていこうとしています。立派である必要ありません。ペトロのように感じていることを素直に表現して、神様の偉大さの前で頭を下げましょう。そして、ゆるされて涙を流して成長する。そんな弟子になっていきましょう。